

# 多賀工業会関西支部会報

令和6年 9月発行 発行人 川上 啓二 編集責任者/行正 隆俊

●事務局 住所 : ██████████ 多賀工業会関西支部  
email : tagakansaisibu@gmail.com



## ●関西の酒蔵（滋賀県）：「北島酒造」

滋賀県の北島酒造さんです。創業から約200年の酒蔵。琵琶湖南東の滋賀県湖南の地にあります。鈴鹿山系からのやわらかい伏流水（入口の所で飲めます）と近江米とくれば、おいしいお酒になります。表側全景で、前の道は幅員3m程度の狭い道ですが、昔の一級国道、旧東海道です。「しぼったそのまま一番酒」がお勧めとのこと。（行正 記）



## 目次

●表紙	関西の酒蔵（滋賀県）：「北島酒造」	.....	1
●巻頭言	川上支部長	.....	2
●令和6年度	関西支部の活動体制	.....	2
●令和6年	関西支部定期総会報告	.....	3
●会員だより		.....	7
●個人情報保護方針（新）		.....	8
●会員ひろば			
	「日本の国力低下を痛感して」 押川 正大（機械 S54）	.....	9
	「音楽は世界をつなぐ ～ 私のオタマジャクシ人生」 陶山 悟司（院機械 S53）	.....	10
●支部会員動向	支部会費納入者、寄付者、訃報	.....	13
●令和5年度	事業報告	.....	14
●	” 決算および会計監査報告	.....	15
●令和6年度	事業計画	.....	16
●	” 予算	.....	17
●同好会だより		.....	18
	セーリング同好会/テニス同好会/ ゴルフ同好会/ウォーキング同好会		
●大学の話題		.....	19
●幹事会だより		.....	20
●編集後記		.....	20



## 会報第 61 号発行に寄せて

支部長 川上啓二

関西支部の会報は、第 1 号が平成 2 年 8 月 10 日に村上元支部長と松居様により発行され、その後編集者は伊勢山様、川上、行正様にバトンタッチしながら継続して来ました。第 1 号より第 57 号までは半年毎の発行でしたが、第 58 号からは A4+カラー化に伴い 1 年毎の発行に変更して継続しております。支部会員様には色々投稿にご協力をいただきありがとうございます。今後とも投稿へのご協力お願い致します。

今年の総会では、特別講演に CO<sub>2</sub> 排出量削減で注目を浴びている「カーボンサイクル」について、茨大での取り組みを田中教授よりお話しして頂き、大変好評で、若い人の初参加もあり盛り上がりました。今後も魅力ある総会になるよう努力したいと思います。また、今年は、その総会の振り返りに於いて、個人情報の取扱いについての改善提案がありました。

確かに個人情報の扱いについては従来通りの運用でしたので、改めて関西支部としての個人情報の取扱いを幹事会で検討し、他の個人情報保護方針例を参考にしながら、関西支部としての個人情報保護方針を定めました。

今後も関西支部運営についての改善点等、ご指摘頂きますよう、お願い致します。

### 令和 6 年度：関西支部の活動体制

\* 支部長：川上 啓二

\* 副支部長：柳沼 英哉

\* 会計監査：樺島 徹男

(\* 本部副会長：萩原 信男)

\* 幹事長：行正 隆俊(兼 副支部長)

\* 会計：村田 健吾

顧問 及川 紘 (金属 S38)

幹事 川上 啓二 (機械 S50) 柳沼 英哉 (化学 S42) 行正 隆俊 (機械 S54)

村田 健吾 (電気 S51) 樺島 徹男 (院機械 S49) 船田 順久 (機械 S42)

鈴木 孝三 (精密 S45) 小串 正樹 (院理 H27) 高橋 昌之 (精密 S44)

萩原 信男 (院機械 S50) 岡 浩二 (院シス H 7) 伊藤 隆康 (機械 S54)

赤塚 修三 (化学 S40) 飯島 有 (院機械 S50) 押川 正大 (機械 S54)

西川 欣吾 (機械 S54)

● 幹事会 (幹事 16 名。必要時は顧問交え役員会開催)

支部活動のための企画・議案立案。現在主に LINE を活用して活動。

● 会報編集委員会 (委員長：行正 隆俊)

年 1 回 (秋) の関西支部会報の企画、草稿、編集、出版

● 名簿編集委員会 (委員長：川上 啓二)

関西支部の名簿管理 (住所変更など更新していく)。

● 総会準備委員会 (委員長：船田 順久中心に幹事全員)

総会の企画立案、会場手配などの諸準備、運営

● 支部活性化委員会 (幹事全員)

関西支部活動の中長期計画、会員のサービス向上、新会員参加・交流促進

● 同好会活動 (継続中)

ゴルフ同好会 (世話役：鈴木) テニス同好会 (世話役：川上)

セイリング同好会 (世話役：萩原) ウォーキング同好会 (世話役：柳沼)

# 令和6年関西支部定期総会報告



令和6年6月23日(日) 10時30分より、昨年と同じ吹田市のパナソニックリゾート大阪にて関西支部総会を開催しました。出席者は、本部長および中国四国支部支部長、及び特別講演で工学部田中教授をお招きし、関西支部会員18名を含め、総勢21名でした。今年こそ若手の参加を増やそうと、カーボンニュートラルエネルギー研究の最先端に行く本学教授の田中光太郎様に依頼しました。その効果があり、初参加は3名で、うち若手の方2名でした。講演の魅力と若手の参加で、充実した総会になりました。

## 第1部. 総会

### ●川上支部長挨拶

現在、関西支部の会員は479名で、昭和卒が4割、平成・令和卒が6割です。年会費納入者は減少傾向にあり、若い会員の参加が課題。

### ●杉田会長挨拶

多賀工業会は、若手会員の減少を課題とし、学生の認知度向上、SNSの活用、支部活動への参加支援を行っています。学生とのミーティングや工学祭での協力を通じて認知度を高め、公式X(旧ツイッター)やInstagramで情報発信を強化。さらに、支部総会初参加の若手会員への参加費支援を実施し、若手会員の参加を促進している。

### ●支部総会議事の承認

引き続き支部長および各担当より、

- |                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| ・令和5年度 事業報告 (14頁参照) | ・令和5年度 決算・監査 (15頁参照) |
| ・令和6年度 事業計画 (16頁参照) | ・令和6年度 予算案 (17頁参照)   |

の報告があり、満場一致でご承認を頂きました。また質疑の中で、総会出席者、特に若手の出席者を増やすために繰越金を有効活用すべきなど、有益なご意見も頂きました。(総会資料は関西支部ホームページに挙げております)



## 第2部. 特別講演

演題：「茨城大学カーボンリサイクルエネルギー研究センターの取り組み」

講師：工学部機械システム工学科教授 田中 光太郎 様



カーボンリサイクルエネルギー研究センター（CRERC）は2023年に設立され、CO<sub>2</sub>削減のみならずCO<sub>2</sub>を再利用し燃料にすることなどを目指しています。当日は多数のパワーポイントを用いて、取り組み内容を詳細に説明して頂きました。当日使用資料を見たい方は、右アドレスにメールをください。[tagakansaisibu@gmail.com](mailto:tagakansaisibu@gmail.com)。

以下には目的部分とまとめ部分のみ掲載します。

**茨城大学カーボンリサイクルエネルギー研究センターで取り組む研究内容**

**世界をリードするサイエンスの力で大気中炭素を資源化する**

➢ 2050年のカーボンニュートラル実現に向けて、電化ができず、対応技術が存在しない燃料・熱利用領域のカーボンリサイクル技術を開発し、同サイクルの社会実装を目指す。

➢ 茨城大学では、CO<sub>2</sub>・水素からの燃料合成、水素・アンモニア・合成燃料の利用に関する研究を推進してきており、これらにCO<sub>2</sub>回収に関する研究を新たに実施することにより、CO<sub>2</sub>を資源と考えるカーボンリサイクル(回収・合成・利用)に関する一気通貫した研究を推進していく。

**合成ユニット**

付加価値の高い化成品原料と燃料合成

- CO<sub>2</sub>からの高効率・選択的メタノール合成
- メタノールを原料としたカーボンニュートラル(CN)燃料の合成(e-fuel, FT合成燃料など)

**カーボンリサイクル**

カーボンリサイクル

**回収ユニット**

大気中CO<sub>2</sub>の低エネルギー回収法の開発

- 電解回収による高効率CO<sub>2</sub>濃縮技術の開発
- 湿度スイング法による常温CO<sub>2</sub>回収法の開発

**これまでの実績**

- メタネーション触媒開発(NEDO・科研費・学会賞)
- 燃料・燃焼を科学することができる唯一の機関、世界最高効率のエンジン開発、ガソリン反応モデル開発(SIP・NEDO・科研費・学会賞)

**2050年までに貢献できること**

- 産業・運輸・業務・家庭部門のカーボンニュートラルの実現
- 大気環境問題の終結

### まとめ

- 茨城大学カーボンリサイクルエネルギー研究センターでは、CO<sub>2</sub>回収、燃料合成、燃料利用に関する研究を三位一体で推進し、カーボンリサイクル技術を社会実装することを目指した研究を加速する。
- CO<sub>2</sub>回収については、熱/電気エネルギー利用をできるだけ低減できる湿度スイング法の社会実装を目指し研究を実施している。湿度スイング法の課題は吸着容量が多く、吸着速度を速くする吸着材の開発で、その開発に向けた研究を進めている。
- 燃料利用については、熱機関に最適な燃料を製造できるチャンスであることから、先進熱機関に最適な燃料を探索しており、オレフィン構造を持つものと、エタノール、ETBE※を混合することが今後の燃料として最適であることがわかってきた。一方で、燃料を混合した場合の着火特性についてはまだメカニズムについて不明確な部分もあり、それらの解明が求められる。 ※バイオ燃料の一つ
- CO<sub>2</sub>以外の地球温暖化物質も注意すべきで、メタン、亜酸化窒素についてもその低減に向けて研究を実施していく。
- カーボンリサイクル技術の社会実装に向け、コスト試算、ビジネスモデルといった経済的側面の研究を加速する必要がある。

### 第3部. 懇親会

今号も、総会の様子を少しでも知って頂こうと思い、懇親会での出席者の近況その他思い出など語って頂いた事を掲載してみました。皆さん気さくに話されていて、知らない方ばかりでも心配なくお話できる事が、お分かり頂けると思います。是非来年度ご参加を検討ください。

#### 中村 忠雄 (電気 S35)

私の同期、小幡さんは、福島県平出身で、茨城大学に通っていました。彼は徳川幕府の旗本の子孫で、戦国時代の小幡一族の働きを書いた新聞を月2回送ってくれます。また、同僚の息子さんが「淡海乃海」という小説を執筆しており、現在15巻まで出版され、16巻目が夏に出る予定です。興味があればぜひ読んでみてください。

#### 眞鍋 宜夫 (機械 S39)

三菱重工に入社、定年まで勤めました。その後、神戸大学で非常勤講師を務めました。珍しいです。昨年、茨城大学工学部の厳しい状況を聞きショックを受けましたが、田中先生の講演で明るい兆しを感じました。現在、日本の厳しい状況を憂い、パブリックコメントや署名運動に参加しながら、日本を変えたいと考えています。

#### 船田 順久 (機械 S42)

現在81歳です。難しい話は避け、地域貢献に力を入れています。近くの河川敷の散歩道を月に2回、草刈り機で整備しています。500mの道を綺麗にすることで、ゴルフ場のような美しさを感じ、達成感を得ています。あと2、3年はこの活動を続け、地域に貢献したいと考えています。

#### 柳沼 英哉 (化学 S42)

製薬会社で合成研究をし、薬の開発に携わってきました。薬が完成するまでには20年ほどかかり、一生に一つ成功すれば大成功です。最近では、コロナワクチンが3年で開発され、その速さに驚いています。現在はリモートでセミナーやシンポジウムに参加し、新しい技術や知識を学ぶことを楽しみにしています。

#### 丸山 朝男 (精密 S44)

生まれも育ちも日立で、親父も兄貴も日立。中学時代は器械体操で県3位、高校はレスリングでインターハイに出場。大学は、東京オリンピックのフィリピン選手との親善試合など、貴重な経験でした。卒業後は大阪の椿本チェーンに就職、コンベアの仕事は楽しく、55歳の退職まで充実した日々でした。退職後も様々な会社で70歳まで働きました。現在はイワナ釣り。天然のイワナの釣りは大変ですが、体力を維持して楽しんでいます。これからも健康に気を付けながら、長生きを目指します。

#### 鈴木 孝三 (精密 S45)

日立で働いた後、大学に進学しました。その後、パナソニックでロボット設計に携わり、1988年から94年までシカゴのパナソニックファクトリーオートメーションを設立し、フォードやモトローラなどの大企業と開発協力

しました。田中先生のグローバルな研究に感銘を受け、茨城大学のさらなる国際的な活躍を期待しています。

#### 本岡 豊 (精密 S46)

私は、第三志望で茨城大学に入学。第一志望は電子、第二志望は電気でした。兵庫出身の私は村田製作所に就職し、当時の売上が300億円だった同社が現在では2兆円規模です。携帯電話の波に乗り、多少ですが成果を上げましたが、スマホ時代には苦戦しました。最近、車を買って替え、これが最後の車かもしれないと感じます。自動運転技術の進化を見守りつつ、パナソニックのナビの優秀さに感心しています。

#### 藤井 祐爾 (機械 S49)

茨城県出身で、22歳の時に関西に就職しました。年を取ると「教養と教育」が大切だと感じています。教養は「今日用事がある」、教育は「今日行くところがある」という意味で、まさに今日の支部総会がその一例です。会社を退職して8年になりますが、老人大学に年20回ほど通い、近くの公民館で歴史講座も受講しています。最近では切腹の作法について学びました。こうして「今日用事がある」と「今日行くところがある」を大切にしながら、日々を充実させています。

#### 樺嶋 徹男 (院機械 S49)

大学ではエンジンの研究を行い、気圧計やフォトトランジスターを使ってディーゼルエンジンの黒鉛量を測定していました。技術の進歩に驚きつつ、最近では散歩や洋ランの栽培を楽しんでいます。また、古典文学にも興味を持ち、徒然草や枕草子、方丈記、源氏物語を読んでいます。

#### 齊藤 進 (院機械 S49)

私は、鈴木さんと同じ会社で働き、樺嶋さんと同じ大学で機械工学を学びました。49年に修士課程を修了し、三年前につれを亡くして一人暮らしをしています。毎日の家事に追われつつ、会社のOB会の世話役も務めています。大阪出身で、茨城大学に進学し、社会科の受験項目がないことが幸いして合格しました。現在は大阪で働いており、これからも皆さんと交流を深めたいと考えています。

#### 萩原 信男 (院機械 S50)

パナソニックで約40年働きました。最後はPC機器のパッケージングで、67歳まで働きました。退職後はヨットを購入し、瀬戸内海や五島列島を航海しています。月の半分はヨット生活、残りの半分は家で奥様と過ごしています。健康でいられるのはこの生活のおかげだと感じています。同窓会の発展とまた参加できるのを楽しみにしています。

## 川上 啓二 (機械 S50)

尼崎のパイプ製造会社に就職し、10年後にNECと東芝が設立した情報会社で35年間勤務しました。65歳で退職後、及川元支部長の紹介で日本検査に入り、ステンレスの検査を担当。今年3月退職し、現在は毎日テニスを楽しんでいます。顔の黒い跡は酔って転んだ際のもので、今後も健康維持のためにテニスを続ける予定です。

## 村田 健吾 (電気 S51)

鉄鋼業に長く勤め、二年前に退職しました。現在は毎日をゆったりと過ごしています。昨日、テレビで「日本百低山」という番組を見て、神峰山や神峰公園、そして有名な「ある町の高い煙突」が映り、懐かしい気持ちになりました。

## 行正 隆俊 (機械 S54)

大阪の電機メーカーに就職しました。定年後に古本屋を開こうと、35歳から計画していましたが、最終的に退職後、8000冊の専門書を集めて古本屋を始めました。アマゾンでの販売にしました。余り売れません。現在は点字翻訳にも取り組み、福祉に貢献したいと考えています。趣味はステレオやオーディオで、若い頃から続けています。

## 鈴木 雄介 (院機械 H18)

現在は株式会社クボタでディーゼルエンジンの設計を担当しています。最近は電動化の影響で設計変更が多く、大変です。趣味としてピアノを学び直しており、街中のピアノを見つけては弾いています。また、息子と一緒に槍ヶ岳に登るなど、登山も楽しんでいます。今日はよろしくお願ひします。

## 小串 正樹 (院理学 H27)

本日は田中先生のカーボンサイクルの講演に興味を持ち、参加しました。現在、京都大学大学院工学研究科で地球環境に優しい省エネモーターの開発に取り組んでいます。日本の電力総消費電力の約50%がモーターによるもので、これが地球温暖化に大きく影響しているため、責任を感じています。田中先生とのコラボレーションを期待しています。今後ともよろしくお願ひします。

## 浦 千壽 (院物質 H14)

会報を毎年楽しみにしています。田中教授の講演がきっかけで今回参加しました。卒業後は粉砕機器メーカーに勤めましたが、現在は和

歌山県で中学校の数学教師をしています。最近読んだ出口治明さんの書籍に感銘を受け、大学での学びが今後の人生に役立つことを期待しています。どうぞよろしくお願ひします。

## 石村 哲郎 (院応粒 H28)

平成28年に社会人ドクターとして大学に入学しました。日立製作所で重電の溶接構造物の生産技術を担当、その後、日立茨城工業専門学院で7年間非常勤講師を務めました。還暦前にドクターコースに入りました。現在は京都に住み、技術士会の会員としてコンサルタント業務を行っています。核融合ベンチャーや大阪モノレールの延伸プロジェクトにも関わっています。今後ともよろしくお願ひします。

## 多賀工業会本部会長 杉田 龍二 様

学生とのミーティングについてです。毎週7、8名の学生が集まり、議論を行っています。昭和世代には考えられない現象として、学生が紙や鉛筆を持たず、パソコンとスマホだけで参加することに驚きました。情報共有や調査、文章作成もすべてデジタルで行われる現状に驚きつつ、昭和世代もデジタル時代に付いて行く必要があると思います。若者の参加を促すためには紙文化を廃止し、デジタルツールを活用する必要がありますね。

## 中国四国支部 支部長 高村 正和 様

今日はお招きいただきありがとうございます。私は茨城出身で、本籍も茨城です。満州で生まれ、終戦後に茨城に引き揚げました。幼少期に茨城弁を覚えました。親が広島に移住したため、広島でいじめに遭いました。3歳の時に一人で茨城に戻り、茨城大学に進学しました。学生運動の中で苦勞しながらも、茨城大学と寮生活を懐かしく思っています。現在は広島で会社を経営していますが、茨城への思いは強く、本部総会で再訪する予定です。

## 工学部機械システム工学科教授 田中 光太郎 様

私は大阪府天王寺区出身で、大学進学を機に東日本へ移り、現在は日本列島の東で働いています。多賀工業会の先輩方のアクティブさに感銘を受け、若者にもその姿勢を伝えたいと思いました。紙と鉛筆の時代からデジタル時代への移行が進む中、パソコンの消費電力が増加し、CO<sub>2</sub>排出量が増えていることも考えて、エネルギー問題の重要性を認識し、若者の積極的な参加を促すとともに、茨大の先輩方に直接の激励もしていただけたら、と思います。



## 会員だより（出欠はがきより）

氏名	卒業学科 と年次	近況	氏名	卒業学科 と年次	近況
荘司 正明	電気 S 2 2	ご案内ありがとうございます。今年は8回目の年男です。9回目も迎えられたらと気力ではありますがこの年になりまして足腰も弱まり視力も衰え一人歩きが難しくなっていました。残念ながら欠席させていただきます。皆様のご健康と盛会を祈っております。	黒澤 清隆	精密 S 4 0	健康的には順調に過ごしていますが、年には勝てずに注意しています。町内のボランティア活動に参加して会話に興味あり、趣味で実践しているクレー射撃に1回/月、参加し運動感覚を維持するのに有効！今後ともに直しく！よい総会にありますように！
竹村 敬一	金属 S 2 2	すっかり歳をとりましたが認知症にもならず今は施設でお世話になっております。足腰が弱っておりますので欠席させて頂きます。皆様によろしくお伝え下さいませ（長女）	菅野 愿哲	機械 S 4 2	終活中です。
池崎 学	電気 S 3 2	老齢につき欠席します。未だ介護の世話にならず元気に過ごしています。	石井 良夫	機械 S 4 4	盛会を！！元気にしています。
佐々木 七朗	原動 S 3 4	支部の発展を期待しています。	加藤 実	機械 S 4 7	世界は独裁主義者の国が傍若無人に振る舞い、日本は政治が混沌して正しい道を進めるのが安心してできません。こういう時こそ歴史を学び世の中の情勢を注意深く見て行きたいと思います。
横山 茂	電気 S 3 5	申し訳ありませんが欠席します。歳相応に元気に過ごしております。明石からはかなりの時間を要し、家族も心配しておりやむを得ません。皆様によろしくお伝えください。	陶山 悟嗣	機械 S 5 1	島根県松江市で母親の生活支援をしており殆ど松江で生活しています。講演も聴きたいのですが、こちらでの仕事日（松江のボランティアガイドもやっています）と重なり、残念です。
新田 陸夫	金属 S 3 7	何とか元気に過ごしております。もうすぐ85才になりますが、ちょっと億劫さが出て困っております。	森 隆	情報 S 5 2	今年70歳になりました。読書がしづらくなってきたのが問題です。健康面で不安がありますが、生活が単調にならないように心がけたいと思っています。
及川 紘	金属 S 3 8	田中教授のカーボンサイクルエネルギー研の講演を楽しみにしておりましたが当日マンションの重要会議があり、残念ですが欠席です。	角江 司	化学 S 5 5	4月から新たな職場に勤務しています。最近特に体力の無さを痛感しています。6月21日から九州での学会に参加して出席は不可です。
小林 紀勝	機械 S 3 9	元気です。一人通院、週2回。	岡山 伯匡	機械 S 5 1	座骨神経痛に加え、妻が入院してしまい、悪戦苦闘しています。返事が遅れて申し訳ありません。会のますますのご発展をお祈り致します。今後ともよろしくお願いいたします。
伊勢山 宏	化学 S 4 0	体調相変わらずすぐれません。大阪市内へ出かけることもなくなりました。近所を徘徊するのが日課となっています。昨年友人、知人が5人も旅立ってしまいました。自分の番が近づいているのを感じています。盛会をお祈り致します。	石樽 昭	化学 S 3 9	お世話になっております。父、石樽昭は昨年12月に体調を崩し、入院し退院したものの、そのまま施設に入居しました。
赤塚 修三	化学 S 4 0	昨年7月からリンパ腫の治療を再開、約1年間の予定でしたが、体の不調もあり遅れております。免疫力の低下が突然出てくるリスクがあり、外出は控えております。			

# 関西支部 個人情報保護方針（新）

## 多賀工業会 関西支部 個人情報の取り扱いと保護について（個人情報保護方針）

多賀工業会 関西支部（以下、「当会」という）は、当会が取得し取扱う会員の個人情報の保護が重要な責務であることを認識し、以下のとおり個人情報保護方針を定め、これを遵守します。また本方針は当会ホームページに掲載し会員に周知します。

### 1. 当会が取得する個人情報について

当会が取得する会員の個人情報は以下のとおりです。

「氏名・住所・電話番号・勤務先・勤務先の電話番号・メールアドレス・卒学部・卒年・会合などでの集合写真およびスナップ写真・総会出欠返信ハガキに記載された個人情報」

### 2. 個人情報の利用目的について

ご提供いただいた情報は機密扱いとし、会員の管理、当会ホームページの維持・管理、会報など広報誌の発行・送付、および同窓会名簿の発行・送付を含む同窓会の運営に役立てる目的のみに使用します。

### 3. 個人情報をご提供いただく場合について

当会で個人情報をご提供いただくのは、以下の場合となります。

- ① 当会事務局から会員本人へ直接提供依頼する場合
- ② 会員本人の同窓生や家族から間接的に事務局へご連絡いただく場合
- ③ 会員本人から直接事務局へご連絡いただく場合
- ④ 多賀工業会本部より発行された会員名簿から掲載情報をいただく場合
- ⑤ 総会および懇親会、幹事会などにて集合写真、スナップ写真を撮らせていただく場合。

尚、この場合は事前に、写真の会報やホームページへの掲載可否も合わせて確認させていただきます。

### 4. 個人情報の管理について

当会では、個人情報を正確かつ最新の状態に保ち、不正アクセス・紛失・破壊・改ざん・漏洩または再提供（「6. 個人情報の第三者への情報提供について」に記載する場合を除きます）などの無いように、適切な管理を実施いたします。また、個人情報の処理を外部に委託する場合は、個人情報を適正に取り扱っている委託先を選定し、契約等を通じて、必要かつ適切な監督を行います。

### 5. 個人情報の開示・訂正・利用停止について

会員本人が自己の個人情報について、開示、訂正及び利用停止を求める権利を有していることを確認し、これらの要求がある場合には、会員本人からの請求であることを確認の上、速やかに対応します。

### 6. 個人情報の第三者への情報提供について

当会では、会員本人の同意を得た場合以外は、同窓会会員以外の第三者に提供を行いません。ただし、当会が事業を行うために業務を委託する外部業者に対し提供する場合、警察や裁判所等の公的機関から法律に基づく手続において照会を受けた場合、会員の行為によって同窓会規約等に反し、同窓会の権利や財産等を保護するため必要と認められる場合、及び人命・身体・財産等に対する緊急の必要性がある場合は除きます。

### 7. 個人情報管理責任者の配置について

当会の支部長を個人情報管理責任者とし、適切な管理を行います。

### 8. お問い合わせ

当会の個人情報保護方針に関する、ご意見、ご質問、苦情の申出その他個人情報の取扱いに関するお問い合わせは、以下の窓口にご連絡ください。

多賀工業会関西支部事務局 連絡メールアドレス：[tagakansaisibu@gmail.com](mailto:tagakansaisibu@gmail.com)

### 9. 法令等の遵守・個人情報保護基本方針の改定

当会では、日本国における法令等に従った個人情報の管理、利用を行います。当会では、日本国における法令等の変更に合わせて、個人情報の保護をより確かなものとするため、またはその他の理由により、個人情報保護方針を改定した場合は、その旨当会ホームページで報告させていただきます。

### 10. 制定日・改定日

制定日：2024年 7月27日

多賀工業会関西支部



### 日本の国力低下を痛感して

S54 機械工学科卒 押川正大



私は、国鉄・JRでの46年間の務めを6月末で終えました。退職後は、故郷の広島山奥で農作業の手伝いを依頼され頻りに高槻から長距離移動の必要から、疲れない車に買い替えることにしました。長年利用しているディーラーに行くと、希望の新車の受付は中止しており再開時期も未定、再開されても1年程度は納車に時間がかかるとのことでした。そこで、系列の中古車店を尋ねたところ希望の車種は1台しかなかったため、物件が出たら教えて欲しいと依頼したところ、物件が出たら海外オークションに出したほうが国内より高く売れるのでと断られました。仕方なく、中古車販売車数社から提案をもらい1年落ちの希望の車を購入しましたが、新車で販売された価格より数十万円高かったのです。すぐに欲しいとのニーズが多く中古車価格は上昇中とのこと。日本車なのに海外市場に新・中古車が優先され国内消費者は後回しにされているのがとても悔しかったです。

別の話ですが、最近、個人経営の焼き肉屋に行くと、牛肉が1年前の1.5倍になっていました。流通の専門家によると、円安の影響だけでなく、中国からの観光客はコロナ前に比べ半減しているが韓国からの観光客が中国を上回って急に増えており、日本で食べた牛肉が美味しかった話が韓国内で広まり、豚肉が上回っていた消費量は牛肉が逆転し、韓国が高く買うので日本は買い負けて商品が入ってこないとのこと。食料自給率が極めて低い日本の食料危機の兆候を実感しました。

私は、退職前の3年間、JRグループ並びに京都府内の地域振興を推進する社団法人の代表を兼務し、インバウンド誘致の仕事もしておりました。その関係でインバウンド誘致に成功していると言われていた二セコについて専門家に教えてもらったのですが、外国資本のホテルや貸別荘など

が林立しており、その専門家が調査のため泊まったスーツケースがようやく入るくらいの狭小の素泊まりホテルで1泊4万円とのこと。高級ホテルは日本人の手の届く価格ではなく客は外国人ばかりで、ホテルの受付は皆外国人で、現地の日本人の仕事はベッドメイクや清掃など低単価の仕事ばかりだそうです。圧倒的に飲食施設が不足し、高級ホテルでも客室に料理を持ち込むスタイルが多いためコンビニでドンペリなどの高級食材を扱っており、ここは日本ではないと感じたそうです。日本の環境資産を利用され、外国資本企業に食い荒らされており地域振興とはほど遠いとのこと。

京都の中国からのインバウンドも同じような状況で、空港から中国系列のバスで京都の名所を巡り、中国系列の飲食店、土産物店、宿泊施設を利用し、消費税も免税があり、ごみとトイレの処理費は地元持ちという実態で、環境資産を使うだけ使われているのは二セコと一緒にです。

保津川船下りは、事故を受け安全対策強化のための費用を捻出するため、料金を4,500円から6,000円に値上げしました。結果、日本人の利用は大きく減り、外国人客はいくら金出してもよいから貸し切りにしてほしいというニーズが高く、日本人の手が届かないものになりつつあります。

こんなことになるのは円安だけの要因ではなく、欧米の都市圏の最低賃金は2,000円以上であり、日本の大卒初任給より高いというように国力の差が大きいからではないでしょうか。

このような国力の差ができた理由をDeNAなどメガベンチャー系企業の経営者が座談会で話していたことは、日本ではGAFAsが生まれず、少し頭角を現すと行政も業界も規制などしてつぶしかかる、米国等は逆にベンチャーキャピタルで経済的支援、グローバルなネットワーク構築などに国

をあげて支援しており、日本とはスタートアップが起業する数、規模が全く違うそうです。今後、日本の国力回復に向け、環境・エネルギー関連などで競争力のある技術やノウハウを持った

スタートアップ企業は国内にも沢山あるので、政府や経団連も国をあげて支援する仕組みづくりをいよいよ本気で取り組み始めており、その実績づくりに期待したいところです。

## 音楽は世界をつなぐ ～ 私のオタマジャクシ人生

S53年 院機械 すやまさとし 陶山悟嗣



在職中に職場の後輩でもあった Y さんから原稿依頼を頂いた。私の趣味について書いてくれ、ということだったので、無駄に多い趣味のなかから、一番長く続いている「歌うこと」の歴史を回想してみた。

### ○学生時代

私の、音楽＝合唱・声楽との出会いは、中学時代に音楽の教師から半ば強制的に参加させられた合唱部だった。そもそもはスポーツ系の私だったが、結果的にコンクールで良い成績が残せたことがきっかけで、以後、自主的に合唱活動に入り、そこにのめりこんだ。「オタマジャクシ（音符）」との格闘が始まる。高校時代は合唱部の部長、そして茨城大学工学部時代はグリークラブの指揮者を務めた。

### ○松下電器産業(株) (当時) 時代

就職難の時代であったが、運よく松下電器に拾われた(1978年)。希望であった研究所に配属となる頃、会社の合唱団をのぞきに行った。大会社の合唱団だから、と、期待していたが、わずか30人足らずのほぼ初心者集団。私はどこの合唱団でも大体足りていないテノールをやっていたので大歓迎され、即入団(させられた?)。「松下中央混声合唱団(現パナソニック合唱団)」の指揮者はやはり研究所勤務の社員だったが、音楽に対しても並々ならぬ才能と情熱の持ち主で、それ故に練習は厳しかった。終業後の練習に加え、週末の合宿では朝食前にランニング、コンクリートの上で筋トレ。練習時は座らせてもらえず立ったまま居眠りして楽譜を落としたり、疲労で倒れる者もいた。会社所属のいわゆる「職業団」ではない、社員の自主的サークルで、である。そのスパルタが効いたのか、私が入団したころは、国内の合唱コンクールで関西地

区の中位でもがいていたのが、数年後には地区上位に位置するようになった。団員も徐々に増えていった。当時、関西はコンクールの激戦区で、職場部門では大和銀行と住友金属がトップを争っていた。なかなかそこに食い込めなかった松下電器であったが、入社5年目にしてやっと全国大会への切符を手に入れることができた。その後も何年かを要したが、ついに1988年、全国大会で金賞を受賞、以後、20回以上の金賞を受賞する。1990年代には団員も100名を数えるまでになっていた。これらのコンクール活動に並行し、合唱団は毎年、定期演奏会を開催していた。私の入団時には、会社内の講堂で社員向けに行っていたが、団が成長するにつれ、市民会館、森之宮ピロティホール、厚生年金ホールと開催会場を移し、ついには大阪のクラシック専門ホールといわれる「ザ・シンフォニーホール」を拠点とし、1800名の聴衆に演奏を披露するまでになり、現在に至っている。私はテノールのパートリーダーとして10数年務めたが、これらの定期演奏会におけるステージ企画という役も務めた。通常の演奏プログラムの他に、聴衆に気楽に楽しんでもらおうという、ダンスあり、演技ありの企画ステージで、これを楽しみに来たという聴衆も多く、毎年の企画内容には悩んだが、そういう声はうれしくもあり、張り合いもあった。

合唱団が世間に認知されるにつれ、会社からの評価も上がっていった。コンクールでの演奏がFM放送で15分流されれば、2000万円の宣伝効果がある?とも聞いた。松下電器が創設した財団が基となり運用される「日本国際賞」、その授与式後のレセプションでは、天皇・皇后両陛下もご同席されるなか、演奏する名誉も与えられた。世界にもはばたく。1999年にはスペイン・トロサでの国際合唱コンクールに出場、3位入賞。2008年には中国北

京・大連にて演奏会を開催、文化面での国際交流の一端を担った。本社講堂を借りてささやかに演奏会を催していた合唱団が、数十年の努力を積み重ね、日本を代表する職場合唱団となったのである。

○プロ演奏家の世界をかいま見る、さらに海外公演で世界も身近に

関西一円で活動する「モーツァルト室内管弦楽団」というプロの室内オーケストラがあるが、このプロオケの協演合唱団として1991年に「モーツァルト記念合唱団」が編成された。私にも声がかかり、その年の初公演であったモーツァルト「レクイエム」から、2020年1月の歌劇「魔笛」までの30年間、合唱団員として数多く出演した。毎回オーケストラをバックに歌えることはもちろん、一流の演奏を身近に聴ける（しかも無料で！）という、なんと幸せな時間であったことだろう！ また、プロの演奏家の方々とのリハーサルでは、本番に向けて一挙に高まる集中度と完成度の高さに驚きつつ、共に音楽を作っていくことの喜びをかみし

めるのであった。合唱団は単独での活動も行った。国内での公演はもちろんのこと、海外での公演もあり、特にベルギーでは延べ3回の渡航・公演を行った。私はいずれの渡航でも、現地関係者宅へのホームステイをお願いした。毎回の公演日程は多忙であり、ステイ先のご家族とゆっくり過ごす時間は多くなかったが、人々の日常生活に触れ、思いを知り、多くの経験をさせてもらったことを人生の宝物としている。

○そして今

70歳を超え、故郷の松江で94歳の母の生活支援をしながら過ごす日々であるが、演奏の機会があれば舞台に立っている。この声が使えり限り、体力が続く限り。最後に座右の銘とする松下幸之助氏の言葉を載せたい。「青春とは心の若さである。信念と希望にあふれ、勇気に満ちて、日に新たな活動続ける限り、青春は永遠にその人のものである。」



1978年、茨城大学工学部グリークラブと茨城キリスト教短大の女声コーラス部との合同演奏会。混声合唱をするために合同演奏会を開いていた。前列右から6番目が私。



1992年、松下中央合唱団（1988年に団名変更）の定期演奏会でモーツァルト「レクイエム」のテノールソロを歌う私。（左側が私）



大子研修所での合宿を終え、水郡線・下野宮駅で帰りの電車を待つグリークラブの仲間（1976年）。（レトロな写真：編者）



プラハでの公演後に世界遺産のクトゥナホラ聖堂をバックに。向かって左端が私。

# 支部会員動向 令和6年度支部会費、寄付頂いた方、及び訃報（敬称略）

## 令和6年度 会費納入者氏名（62名）

荘司 正明	(電気 昭22)	柳沼 英哉	(化学 昭42)	伊藤 隆康	(機械 昭54)
氏家 悦男	(専原動 昭26)	石井 良夫	(機械 昭44)	西川 欣吾	(機械 昭54)
池崎 学	(電気 昭32)	丸山 朝男	(精密 昭44)	行正 隆俊	(機械 昭54)
佐々木 七郎	(原動 昭34)	鈴木 孝三	(精密 昭45)	角江 司	(化学 昭55)
中村 忠雄	(電気 昭35)	矢野 文敏	(機械 昭46)	酒井 典夫	(電子 昭56)
横山 茂	(電気 昭35)	田所 光男	(精密 昭46)	林 孝行	(機械 昭57)
平根 光義	(金属 昭35)	本岡 豊	(精密 昭46)	森本 一司	(情報 昭57)
岡山 伯匡	(電気 昭36)	林 清継	(精密 昭47)	青木 均之	(機械 昭58)
新田 陸夫	(金属 昭37)	加藤 実	(機械 昭47)	大西 光一	(精密 昭61)
大島 信康	(化学 昭37)	宮崎 眞	(短機械 昭48)	坂本 隆史	(電子 平02)
五味淵 勇	(金属 昭37)	西村 寿夫	(精密 昭48)	小川 章	(情報 平02)
大里 忠義	(機械 昭38)	斎藤 進	(院機械 昭49)	須藤 康之	(短化学 平02)
及川 紘	(金属 昭38)	樺嶋 徹男	(院機械 昭49)	小林 理伸	(精密 平03)
小林 紀勝	(機械 昭39)	藤井 祐爾	(機械 昭49)	井尻 丈太	(機械 平06)
眞鍋 宣夫	(機械 昭39)	萩原 信男	(院機械 昭50)	坂本 眞一	(気子 平09)
加藤 紘	(化学 昭39)	川上 啓二	(機械 昭50)	吉田 淳	(院都市 平12)
石樽 昭	(化学 昭39)	山口 信之	(金属 昭51)	浦 千寿	(院物質 平14)
黒沢 清隆	(精密 昭40)	村田 健吾	(電気 昭51)	永岡 賢一	(電気電子 平17)
伊勢山 宏	(化学 昭40)	森 隆	(情報 昭52)	小串 正樹	(院理学 平27)
赤塚 修三	(化学 昭40)	菅原 公生	(電気 昭52)	石村 哲朗	(院応粒 平28)
船田 順久	(機械 昭42)	押川 正大	(機械 昭54)		

## 令和6年度 寄付納入者氏名（45名）

荘司 正明	(電気 昭22)	石井 良夫	(機械 昭44)	押川 正大	(機械 昭54)
池崎 学	(電気 昭32)	丸山 朝男	(精密 昭44)	西川 欣吾	(機械 昭54)
中村 忠雄	(電気 昭35)	鈴木 孝三	(精密 昭45)	行正 隆俊	(機械 昭54)
横山 茂	(電気 昭35)	田所 光男	(精密 昭46)	角江 司	(化学 昭55)
平根 光義	(金属 昭35)	本岡 豊	(精密 昭46)	森本 一司	(情報 昭57)
新田 陸夫	(金属 昭37)	林 清継	(精密 昭47)	青木 均之	(機械 昭58)
及川 紘	(金属 昭38)	加藤 実	(機械 昭47)	大西 光一	(精密 昭61)
小林 紀勝	(機械 昭39)	西村 寿夫	(精密 昭48)	小川 章	(情報 平02)
眞鍋 宣夫	(機械 昭39)	斎藤 進	(院機械 昭49)	坂本 眞一	(電気電子 平09)
加藤 紘	(化学 昭39)	樺嶋 徹男	(院機械 昭49)	吉田 淳	(院都市 平12)
石樽 昭	(化学 昭39)	藤井 祐爾	(機械 昭49)	浦 千寿	(院物質 平14)
黒沢 清隆	(精密 昭40)	萩原 信男	(院機械 昭50)	小串 正樹	(院理学 平27)
伊勢山 宏	(化学 昭40)	川上 啓二	(機械 昭50)	石村 哲朗	(院応粒 平28)
赤塚 修三	(化学 昭40)	村田 健吾	(電気 昭51)		
船田 順久	(機械 昭42)	森 隆	(情報 昭52)		
柳沼 英哉	(化学 昭42)	菅原 公生	(電気 昭52)		

☆☆☆ 引き続き、会費、寄付の納入をよろしく申し上げます ☆☆☆

《訃報》

～心よりお悔み申し上げますと共に、謹んでご冥福をお祈りいたします。～

植阪 武 様	(機械 昭20)	(令2/ 8/10 逝去)	吉田 昇 様	(精密 昭26)	(令5/ 8 逝去)
近江 正裕様	(機械 昭29)	(令5/12/30 逝去)	中井 弘 様	(機械 昭37)	(令6/ 5/15 逝去)
石井 俊一様	(電気 昭38)	(令6/ 5/25 逝去)	宮沢 雄三様	(情報 昭58)	(令4/ 8 逝去)
藤田 周作様	(院物質 平12)			(以上7名様)	



# 令和5年度決算報告および会計監査結果

<令和5年4月1日～令和6年3月31日>

## 多賀工業会関西支部 令和5年度決算書

費 目		令和5年4月1日～令和6年度3月31日	
		内訳	費目計
収入の部	1. 前期繰越金	-	698,778
	2. 支部年会費	-	238,000
	(1) 会費納入(64人)	128,000	-
	(2) 寄付(48人)	110,000	-
	3. 多賀工業会本部より支部支援金	-	43,900
	4. 支部総会	-	148,000
	(1) 懇親会費(15人)	120,000	-
	(2) 本部、中国四国支部からの祝金	28,000	-
5. 広告収入	-	0	
会報第60号	0		
6. 雑収入	-	4,500	
7. 利息	-	6	
	合計		1,133,184
支出の部	1. 支部総会費	-	154,670
	(1) 会場費・懇親会費用(17名)	140,470	-
	(2) 来賓土産代	4,200	-
	(3) 講師謝礼代	10,000	-
	(4) 役員会会費	0	-
	(5) 写真代・送料	0	-
	2. 支部会報発行費用(会費納入者のみ郵送)	-	44,141
	会報第60号 印刷(150部)	24,761	-
	送料	19,380	-
	3. 会合費	-	0
	(1) 中国・四国支部総会出席	0	-
	(2) 本部総会	0	-
	4. 幹事会費	-	27,234
4回開催(室代等、食事代、交通費)	27,234	-	
5. 通信費(総会案内、総会出欠はがき)	-	26,364	
6. 支部会費振込手数料	-	8,975	
7. その他	-	4,608	
(1) 支部活性化	0	-	
(2) 事務用品購入(宛名ラベル、各種印刷、封筒代)	3,508	-	
(3) 銀行振込手数料	1,100	-	
支出計	-	265,992	
次期繰越金	-	867,192	
	合計		1,133,184

会計担当 村田 健吾 (電気 S51)



令和5年度多賀工業会関西支部の会計は、すべて正確に報告されていることを認めます。

会計監査 榊嶋 徹男 (院機械 S49)



# 令和6年度事業計画

<令和6年4月1日～令和7年3月31日>

## I. 第61号支部会報発行

### 1.発行日・発行部数

- ・秋に発行を予定 ・150部予定。

### 2.発送

- ・第60号と同じく、会費納入者および新規会員に送付を予定。(後日ホームページへ掲載)
- ・本部、他支部(13支部：各2部)に送付予定。

### 3.特記事項。

- ・会員の読みやすさを考慮しA4版のカラーを継続。

## II. 支部会員名簿管理、名簿編纂

### 1.パソコンによる会員名簿管理システムの運用継続。

### 2.本部長名簿(本部長の名簿発行は4年毎)を利用し、新規会員の調査を行う。次回は2026年予定。

### 3.新規会員に対する支部活動への勧誘。

## III. 支部総会

### 1.開催日：令和6年6月23日(日) パナソニックリゾート大阪

- ・出席者：21名(実績)

来賓：(本部) 杉田会長 (中国四国支部) 高村支部長

- ・主要議事：令和5年度事業報告、決算報告  
令和6年度事業計画、予算案承認

- ・特別講演会、懇親会

講師：工学部機械システム工学科教授 田中 光太郎 様

演題：「茨城大学カーボンリサイクルエネルギー研究センターの取り組み」

## IV. その他

### 1. 支部活動の効率化、活性化について

#### 1)関西支部ホームページの充実化 会員よりの投稿を募集中

#### 2)支部財政改善への継続努力：経費節減、会費納入者の増加策等

- \* 会費納入と寄付継続のお願い

#### 3)支部活性化の活動を継続

##### ①ウォーキング同好会 世話役：柳沼 英哉 (化学 S42)

- ・実施案検討中

##### ②ゴルフ同好会 世話役：鈴木 孝三 (精密 S45)、船田 順久 (機械 S42)

- ・第26回関西支部ゴルフ大会：令和6年秋 実施予定

(中部支部親睦ゴルフ大会はR5年度で終了しました)

##### ③テニス同好会 世話役：川上 啓二 (機械 S50)

- ・月1回の開催を再開予定

##### ④セイリング同好会 世話役：萩原 信男 (院機械 S50)

- ・希望者により日程調整

### 2.会合：役員会、幹事会、各種委員会の実施 (LINE会議を有効活用)

### 3.第61号会報発行準備、支部総会開催準備 等



# 令和6年度予算

<令和6年4月1日～令和7年3月31日>

## 多賀工業会関西支部 令和6年度予算書

費 目		★令和6年4月1日～令和7年度3月31日	
		内 訳	費目計
収入の部	1. 前期繰越金	-	867,192
	2. 支部年会費	-	240,000
	(1) 会費納入(70人)	140,000	-
	(2) 寄付	100,000	-
	3. 多賀工業会本部より支部支援金	-	43,900
	4. 支部総会	-	162,000
	(1) 懇親会費(20人)	136,000	-
(2) 本部、中部、中国四国支部からの祝金	26,000	-	
5. 広告収入	-	0	
・会報第61号	0	-	
6. 利息	-	6	
	合計		1,313,098
支出の部	1. 支部総会費	-	177,000
	(1) 会場費・懇親会費用(20人)	160,000	-
	(2) 来賓土産代	10,000	-
	(3) 役員会会費	2,000	-
	(4) 写真代・送料	5,000	-
	2. 支部会報発行費用	-	60,000
	・会報第61号 印刷(150部)	40,000	-
	送料	20,000	-
	3. 会合費	-	65,000
	(1) 中国・四国支部総会出席	20,000	-
	(2) 中部支部総会出席	35,000	-
	(3) 本部総会	10,000	-
	4. 幹事会費	-	40,000
	・4回開催(室代等、食事代、交通費)	40,000	-
	5. 通信費(総会案内、総会出欠はがき)	-	67,000
6. 支部会費振込手数料(60人×180円)	-	10,800	
7. その他	-	88,000	
(1) 支部活性化	-	-	
・特別講演料、講師宿泊費及び交通費 他	80,000	-	
(2) 事務用品購入(宛名ラベル、各種印刷、封筒代)	6,000	-	
(3) 銀行振込手数料	2,000	-	
支出計	-	507,800	
次期繰越金	-	805,298	
	合計		1,313,098

(令和6年総会にて承認済み)

## 同好会だより

### セイリング同好会

世話役 萩原（院機械 S50）

一人で瀬戸内海から外海を通り五島列島の間を数多く往復し、ますますヨットの楽しさに惹かれていっています。セイリングの楽しさを、多くの人に味わっていただきたいです。

同窓生、その家族が対象で、中学生以上で、小学生は父兄同伴なら大丈夫です。人数は4人まで（ライフジャケットあり）です。費用は特に不要（飲食は自分で）。



### テニス同好会

世話役 川上（機械 S50）

2024/6/25 久々にテニス同好会を開催しました。今回も、残念ながら4人のみの参加になりましたが、2時間ミックスダブルスをペアを交代しながら接戦のゲームを楽しみました。

同好会の練習は基本的には第4火曜日の13:00～15:00を予定しています。

興味のある方は、初心者でも大歓迎ですので、ご家族の方も含めご参加下さい。

次回 10/29 予定です。場所:「パナソニックリゾート大阪」吹田市青葉丘南10番1号

- 電車利用 :最寄駅 大阪モノレール・宇野辺駅から徒歩またはタクシー  
JR茨木駅からタクシー。連絡頂ければ、送迎します。
- 車利用 :最寄IC 名神高速・吹田IC



パナソニックリゾート大阪



### ゴルフ同好会

世話役 鈴木（精密 S45）、船田（機械 S42）

今年は、春のゴルフが中止になりました。秋のゴルフは9月30日に「くずはゴルフリンクス（大阪府枚方市）」で実施予定です。今後の予定はホームページに掲載しますので、参加ご希望の方はご連絡をお願いします。

### ウォーキング同好会

世話役 柳沼（化学 S42）

再度のコロナ流行になっており、再開を断念しております。再開の目途がつき次第、ホームページやメール、電話で連絡させていただきます。またハイキングやウォーキングが好きで、何等かの形でお世話、アドバイスなど関わっていただける方がおられましたらありがたいです。ご連絡よろしく申し上げます。

☞各同好会へのご連絡は、同好会名、お名前、卒業年次、学科に、簡単なコメントを添えて関西支部事務局メールアドレスまでお願いします。各同好会より折り返しご連絡を差し上げます。

✉Email address : [tagakansaisibu@gmail.com](mailto:tagakansaisibu@gmail.com)

## 大学の話

茨城大学のホームページに掲載されている話題より、以下の内容について、抜粋してお伝えします。

### 1. 原子科学研究教育センター、東海村でキックオフシンポジウムを開催

RECAS（原子科学の推進拠点）は、未来のエネルギー技術や原子・物質・生命の科学を融合的に研究し、高度な知識と技術を持った人材を育成する先進的な研究・教育拠点です。東海村で開催されたキックオフシンポジウムでは、地域との連携や防災関連の柱についても議論されました。

- (1) 部門構成：RECAS は「放射線安全部門」「次世代革新炉部門」「応用原子科学部門」の3部門と、社会／地域課題共考解決室から成り立っています。
- (2) 茨城大学との連携：茨城大学は RECAS の前身となるフロンティア応用原子科学研究センター（iFRC）を設置し、日本で唯一の量子線科学専攻を開設しました。



[原子科学研究教育センター、東海村でキックオフシンポジウムを開催－地方大学としてのコミットメントとは | NEWS | 茨城大学 \(ibaraki.ac.jp\)](https://www.ibaraki.ac.jp/news/2024/06/15/20240615_01.html)

### 2. 第36回知能ロボットコンテスト2024で「準優勝」, 「チャレンジ技術賞」を受賞



日時：2024年6月15日（土、一次予選）、16日（日、二次予選・決勝戦）

会場：スリーエム仙台市科学館

HP : <http://www.inrof.org/irc/>

ロボットの説明 : <http://www.inrof.org/2024/irc/score/>

「ロボット技術研究会」の出場ロボット「Chotgpt-4o」と「センター分け」が、「第 36 回知能ロボットコンテスト 2024」の「チャレンジャーズコース」で素晴らしい成績を収めました。準優勝とチャレンジ技術賞を受賞しました。

本大会は、競技台の上に置かれた 3 色のボールを集め、色分けしてゴールする競技となります。競技開始後は、人はボットを操縦することはできません。「Chotgpt-4o」は、これまでにないボール取り込み機構を持ち、昨年度からボール回収精度を大幅にアップし、競技ルールをラップに載せて競技中に流すという+αを施し、実力とユーモアの両方を兼ね備えた非常に完成度の高いロボットに仕上がっていました。あのすばらしい瞬間を、すばらしい学生さん達と共有できて本当に幸せでした。どうもありがとうございました！  
(ロボット技術研究会 顧問：機械システム工学科 森 善一)



[第 36 回知能ロボットコンテスト 2024 で「準優勝」、「チャレンジ技術賞」を受賞 | お知らせ \(ibaraki.ac.jp\)](http://ibaraki.ac.jp)

## 幹事会だより

「幹事会だより」というコーナーを設けてみました。支部の運営は具体的にはどうしているのだろう、などを少しでも、お知らせして、支部会員の皆様とともに会を盛り上げていく一助となれば幸いです。

さて、今の会の活動で重点を置いているのは、新しい会員、特に若手（60代未満は、当支部では十分若手です！）の参加を増やすという点です。これは過去の諸先輩方がずっと苦勞されてきたことで、会報を全員に配布するとか同好会活動を増やすとか、総会参加費を補助するなどやってきても中々増えません。更に社会が各年齢層とも減少傾向であり、また仕事もより高度な能力が求められるとともに、雇用も70才までにもなると、参加のハードルが上がります。そうは言っても何かし続けないと会員の高齢化のみ進むので活動も縮小していきます。

現在、幹事会は、主にLINEを使って会議をやっています。そこで話し合ったりした中で、やはり支部に何らかの魅力を感じないと誰もこないだろう、ということで、本学の現役教授の、最先端の研究の動向を講演していただくこと、

田中教授に本年は来て頂きました。その効果で、新たに3人の初参加をみる事ができました。今回は40代の方も2名、60代の方もほぼ現役で、懇親会終了後少し時間を頂いて、感想や改善点など伺ったのですが、まず個人情報取り扱いのリスク考慮不足を指摘頂きました。写真の扱い、参加者の住所、電話番号などの個人情報は出席者名簿として配布していたのですが、「ありえない！」と言うお話が衝撃でした。早速反省し、同窓会としての個人情報保護の方針を一か月程度かけて策定しました。これは本誌に掲載しております。個人情報保護法の対象に同窓会も含まれるのを踏まえて策定しています。

それと場所や参加費を気にして、会場費が安く交通の便も良い所を探しましたが、交通の便が良いと高いというのを知るだけでした。そのあたりについて聴くと、場所や参加費よりも、子育て世代には、日曜昼間は厳しいとの事。これは来年総会の準備前に検討してみたいと思います。何かありましたら、本誌末尾の事務局メールアドレスまでメールください。

## 編集後記

会報をPCで作っていますが、ついていけない時も多いです。周りの幹事さんの協力で何とかです。今回、議事などをレコーダーにいれ、PCのマイク端子に音声入力しWORDに入れると文字起こしができるようになり、誤変換や句読点を修正し（ここまでが時間がかかる）、AIに読ませて要約する、というのをやってみると、あっという間です。調べるとAIに学習させるデータは人力で入力だそうで、人口多い国が有利か。「会報書いて」とやれば、私の思考を学習し、心得たAIが会報をパッと作る世界が来るかも知れませんね。

行正(機械 S54) 事務局連絡先 : [tagakansaisibu@gmail.com](mailto:tagakansaisibu@gmail.com)  
関西支部ホームページ : [多賀工業会関西支部 | 茨城大学工学部同窓会 \(ibaraki-univ.jp\)](http://ibaraki-univ.jp)

